

2019 年高麗博物館企画展示

3・1 独立運動 100 年を考える

— 東アジアの平和と私たち —

2月6日(水)～6月23日(日)

1919年3月1日、日本の植民地支配に抗し、朝鮮で大規模な独立運動が起きました。各地で「独立宣言書」を読みあげ、「独立万歳」をさげび、あらゆる階層の人たちが参加して、運動は全国各地に広がっていきました。日本の憲兵警察はこの「3・1 独立運動」を弾圧し、日本は敗戦まで植民地支配を続け、ほとんどの日本人は政府を支持しました。

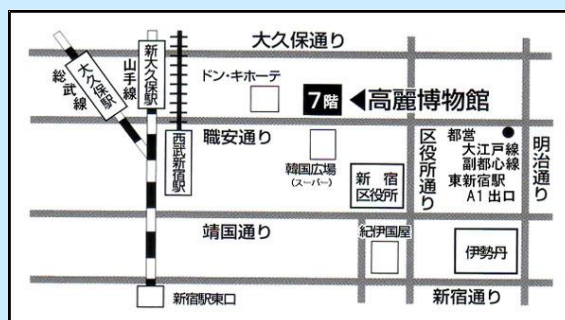
100年が経過した今日、多くの人が「3・1 独立運動」ばかりか、かつて日本が朝鮮半島を植民地にしていたことを知りません。

朝鮮半島の情勢は今大きく変化し、非核化と朝鮮戦争の終結へと向かっています。「3・1独立運動」100周年に当たり、高麗博物館では韓国の独立記念館、堤岩里の教会などを訪ね、3・1 運動について学んできました。当時の報道や女性の活動、堤岩里虐殺事件、在朝日本人の動き、そしてこの運動が今日の民主化運動、キャンドル革命へ連動していくことなどを展示して東アジアの平和について考えたいと思います。



開館時間：12:00～17:00 休館日：月・火曜日

入館料：一般 400 円 中高生 200 円



※一階はファミリーマート